

教頭通信デジタル

令和4年12月12日（月）第25号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

三石城跡奉仕作業に参加しました!!

備前三石城跡 岡山県指定史跡

三石城は1333年（元弘3年）、地頭の伊東大和二郎宜祐の築城によるものですが、親交のあった播磨赤松氏の重臣浦上宗隆が一時期城主となり、その後赤松氏の実権を奪った浦上村宗が戦国大名として全盛期を迎えます。しかし、浦上氏も1531年（享禄4年）、摂津天王寺の戦いで死没したため、しばらく後に三石城は廃城となります。

城跡の本丸跡には土塁・石塁も残っており、二の丸・三の丸をはじめ大手門・矢倉台石積み・溜池・井戸などの遺構も現存しています。三石城は領主の居住地であるとともに、南北朝時代・室町時代の幾つもの勢力争いをかいくぐってきた歴史ある山城だったのです。



12月11日（日）、三石城跡保存会が主催する三石城跡奉仕作業に、本校から20名（生徒が13名・PTAから7名）が参加しました。8時30分に三石運動場に集合し、三石城跡をめざし、山を登りました。私も三石城跡を訪れたのは今回が初めてでした。



登山道はかなりの急勾配で、何度か休憩を取りながら登りました。城跡には落ち葉がたくさん積もっており、三石小学校と三石中学校の参加者できれいに清掃しました。本校は教育目標の達成に向けて、『豊かな心づくりの推進』を指導の重点の1つにしており、地域に貢献する活動の充実を図っています。今回は休日のボランティア活動に関わらず、13名の生徒が一生懸命に奉仕作業に参加できたことは、非常に素晴らしいことだと思います。今後も【地域との交流活動】や【地域に出向いた奉仕活動】に積極的に参加できる三石中学校であってほしいと願っています。



登山道はかなりの急勾配で、何度か休憩を取りながら登りました。城跡には落ち葉がたくさん積もっており、三石小学校と三石中学校の参加者できれいに清掃しました。本校は教育目標の達成に向けて、『豊かな心づくりの推進』を指導の重点の1つにしており、地域に貢献する活動の充実を図っています。今回は休日のボランティア活動に関わらず、13名の生徒が一生懸命に奉仕作業に参加できたことは、非常に素晴らしいことだと思います。今後も【地域との交流活動】や【地域に出向いた奉仕活動】に積極的に参加できる三石中学校であってほしいと願っています。

